

尾張徳川の足跡を訪ねて 番外編8～お雛飾り～

徳川美術館で、尾張徳川家ゆかりのひな人形を展示する展覧会が開かれています。展示品の一部をご紹介します。



内裏雛飾り

右側が公家の正装、左側が（公家の略服）です。尾張徳川家14代藩主慶勝夫人の矩姫（のりひめ）様所用の品。矩姫様は福島二本松の大名丹羽長富公の二女です。

菊折蒔絵雛道具

近衛家出身の尾張徳川家11代藩主斉温夫人の福君（さちぎみ）様の婚礼調度として伝来した菊折枝蒔絵の諸道具を、雛人形用にミニチュア化しています。婚礼道具と比べても遜色ない出来栄えなのだそうです。



現在、徳川美術館で雛飾りが、蓬左文庫で金澤文庫本が展示されています。蓬左文庫に称名寺（金澤文庫保管）に伝わる名宝が一堂に会しています。蓬左文庫が所蔵する、家康公が収集につとめ駿河御譲本として義直公に引き継がれた金澤文庫ゆかりの書も紹介されています。